



# 10月の園だより

2023年9月30日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

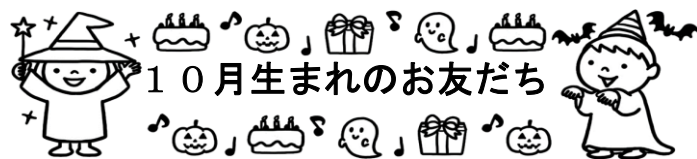
楽しかった夏を経て、実りの秋を迎えました。今年度が始まって半年、こどもたちも一回り大きく成長したように感じるこの頃です。今年は9月に入っても真夏のような暑い日が続きましたが、ようやく気持ちのよい秋晴れの日が期待できるようになりました。これからの過ごしやすい季節は、戸外で外気浴に触れ、思い思いに身体を動かしていきたいと思えます。7月の「夏まつり」に続き、10月は「運動あそび会」も4年ぶりに開催いたします。ゆづりの「運動あそび会」は、“運動会”というより、親子のふれあいを楽しんでいただくことを目的としています。たくさんの笑顔が見られることを楽しみに準備を進めておりますので、お忙しい中とは思いますが、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

気候が移り変わり、秋から冬にかけて、感染症など体調を崩しやすいお子さんが増える時期でもあります。お子さんの体調の変化には十分にご留意くださいますようお願いいたします。

**10月の予定**

14日(土) 運動あそび会  
 17日(火) 避難訓練  
 18日(水) お誕生会  
 23日(月)24日(火) 身体測定

日程変更の際は事前にお知らせいたします。



## 10月生まれのお友だち

お誕生日おめでとう！

**10月の歌**

こおろぎ  
とけいのうた  
コンコンクシュンのうた



## 衣替えについて

衣替えの時期になりました。ロッカーの着替え等の確認をお願いいたします。涼しいと感じる日も保育室内は汗ばむことが多いです。しばらくは半袖・長袖両方のご用意をお願いいたします。全ての持ち物にはお名前を見やすい位置に大きくはっきりとお書きください。フード付は事故に繋がりますので、ご遠慮ください。



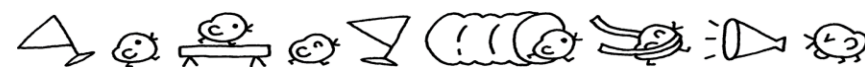
ひよこ組に新しくお友だちがご入園されました。  
むとう なお君 よろしくお祝いいたします。



## クラスより

### 0歳ひよこ組

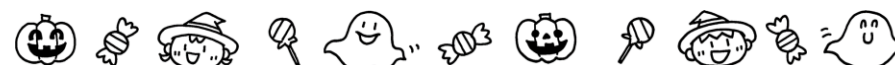
揃って登園する日も増え、ひよこ組のお部屋ではそれぞれがゆったりと遊ぶ様子が見られます。ボール遊びでは自分のお気に入りのボールを見つけて、何度も保育者に見せられたり、上手に“ポンッ”と前に投げて追いかけたり、自分の思うように体を動かして遊んでいます。たくさん遊んだ後の給食では、ウトウトと眠そうにする姿も見られますが、食べることが大好きなひよこ組さんはしっかりと最後まで食べています。自分なりにスプーンで食べたり、手づかみで上手に口に持っていったりと、夢中になってモグモグする姿が微笑ましいです。食べることの楽しさや満足感を感じながら、食事をしていくことができるように援助をしていきたいと思えます。また、お腹がいっぱいになった後はぐっすりお昼寝をして、安定した生活リズムで過ごせるようにしていきたいと思えます。



### 1歳うさぎ組

9月に入っても日差しが強く暑い日が続いたため、室内で体操をしたり風船などで遊びました。保育者が風船を出すと嬉しそうに取りに来て、好きな色の風船をポンと飛ばしたり、手で振ってボンボンと音を出しながら楽しんでいました。お友だちとの関わりも増え、一緒に手を繋いだり、「どーぞ」と言いながら玩具を渡したり、仲良く遊んでいる姿はとても可愛らしいです。また、ブロックを使って自分で色々なものを作って遊ぶ様子もあります。涼しい日に園庭のお砂場で遊んだときは、嬉しそうにお仕度をして、自分で帽子や靴下、靴を取って、「うーん」と言いながら身に付けようと頑張っていました。

10月は戸外に出て秋の自然に触れながら、元気いっぱい遊び、色々なことを体験できるようにしたいと思います。



### 2歳りす組

りす組になり半年が経ち、様々なことに葛藤することも増えてきました。ご家庭でのご協力があって、生活の面では苦手な食べ物を少しずつ食べようとしていたり、衣服の着脱では畳む練習をしたり、時には難しいときもありますが、その時の状況に応じて園でも丁寧に関わっています。出来たときの喜ぶ姿がとても愛おしく、保育者も大いに喜んで嬉しさや達成感を共有しています。遊びの面でも子どもたちだけで輪になって、楽しそうにごっこ遊びを繰り返したり、時にはおもちゃの取り合いをしたり…。少しずつ子どもたちだけで解決策を出し合う姿が見られるようになってきました。今後もご協力をお願いすることが多くなるかと思いますが、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、子どもたちの自信に繋がるようにご家庭と連携していきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。



## こどもの発達と絵本

こどもたちは絵本が大好きです。先生に読んでもらったり、好きな絵本を自分で手に取って見入ったり、園では毎日絵本に触れて過ごしています。読書の秋にちなんで、今回はこどもと絵本について取り上げてみたいと思います。ご家庭でも是非参考にさせていただき、お子さんとの密な時間をお過ごしください。

### ～6ヶ月 はじめての絵本は「読む」より「ふれる」～



生後半年くらいになると、絵本を見せながら語りかけると、絵と読み手の顔をじっと見るなど、興味をもつようになってきます。触ったり、なめたりすることもあります。ただし、興味はすぐほかの物へと移っていきます。この時期は、絵本と親しめるようにすることが大切です。いつでもふれることができるよう、身近に置いておきましょう。

0歳児では、視力よりも聴覚のほうが早く発達しています。絵よりも音を楽しめるように、ゆっくりと、リズムよく、聞き取りやすい発声で読み聞かせましょう。

### 信頼する大人との愛着が深まる0歳児のための絵本



言葉のリズムがよく、繰り返しがあ

聴覚はおなかの中にいるときから発達しています。短いフレーズが繰り返してでくるような、リズムカルなもので、0歳児の感覚を刺激しましょう。

絵柄がシンプルで、色使いがはっきりしている

視力が未発達なので、背景に書き込みの少ない、はっきりした絵のものを選びましょう。写真や写真のようにリアルなイラストも、こどもに人気があります。

### 『だれの ごはん?』 作/たかいよしかず 教育画劇

おなじみの野菜や動物が、優しい色合いで大きく描かれた仕掛け絵本。ページごとにテーマカラーが変わるので、視力の未発達な0歳児が色の楽しさを知るのにもぴったりです。

### 『ぼんちんぱん』 作/柿木原政広 福音館書店

### 『じゃあじゃあびりびり』 作/まつのりこ 偕成社



### ～1歳半 絵本に「参加する」～



1歳半頃になると、体を動かしたり、気持ちを言葉にすることが、少しずつできるようになってきます。床の上に座れば、自由に動いて楽しむこともできます。絵本はこどもが

自分で考えたり、探したり、発見したりできる、参加型のものがお勧めです。

### イメージが膨らむ1歳児のための絵本



こどもの知っている物や動物がたくさん出てくる

1歳を過ぎると、言葉や絵から、自分の知っていることを関連づけてイメージできるようになってきます。身近な物が出てくる絵本で、興味を引き出しましょう。

わかりやすいストーリーがある

1場面完結ではなく、1冊を通してひとつながりのストーリーがあるものを選びましょう。絵本を最後まで順番にめくる楽しさを感じることができます。

### 『おんなじ おんなじ』 作/苅田澄子 絵/つちだのぶこ 学研教育出版

目や鼻、おでこもほっぺも、家族のだれかと同じ形をしています。大好きな人と「おんなじ」って、嬉しいですね。どこかユーモラスでぬくもりいっぱいの絵も魅力的です。

### 『コップちゃん』 分/中川ひろたか 絵/100%ORENGE ブロンズ新社

### 『いちにのさんぽ』 作/ひろかわさえこ アリス館



### ～2～3歳 ごっこあそびで絵本の世界へ～

このころのこどもは、“ごっこあそび”“なりきりあそび”が大好きです。その登場人物になりきって遊んでみましょう。こどもは体と頭を使って、絵本の世界をもう一度楽しむことができます。

### ストーリーが楽しい2歳児のための絵本



ストーリーに起承転結がある

ストーリー性のある物語でも、経験したことがある状況、知っている動物などが出てくる物なら、すんなりと絵本の世界へ入っていくことができます。

絵の中に、発見や仕掛けが隠れている

2歳頃のこどもは、発見したことを誰かに教えたい気持ちでいっぱいです。絵の中から何かを探し出すものや、複雑な絵柄のものが、楽しめるようになってきます。

### 『やさしい女の子とやさしいライオン』 作/ふくだすぐる アリス館

森の中で、大きな卵を見つけた女の子とライオン。どちらも「これはわたしのもの！」と譲りません。ついに、森中の動物たちもやってきて…。本当は優しい二人。一体どんな仲直りをするのでしょうか。

### 『たべたの だあれ』 作/五味太郎 文化出版局

### 『あかんべ ノンタン』 作/キヨノサチコ 偕成社



参考資料「あそびと環境0、1、2歳」